

目 次

第一章 序論

第一節 動機と研究方法	1
一、動機及び目的	1
二、研究方法	5
第二節 先行研究の整理	7

第二章 安倍晴明に関する史料

第一節 陰陽道について	13
一、はじめに	13
二、「陰陽道」とは何か	13
三、陰陽五行説	16
（一）陰陽説	16
（二）五行説	21
四、陰陽五行思想の日本への輸入	26
五、まとめ	30
第二節 史料に基づく人間像	31
一、はじめに	31
二、晴明が生きていた平安中期の諸相	31
（一）貴族の食事面	32
（二）貴族の思想面	35
三、晴明の仕事場—陰陽寮について	37
四、晴明の実像	42
（一）晴明の出身	42
（二）晴明の事跡	45
五、まとめ	51

第三章 古典の世界における晴明像

第一節 平安・鎌倉時代における晴明作品	52
一、はじめに	52
二、平安時代における晴明作品	52
（一）女流文学における陰陽師	52
（二）『大鏡』における晴明像	54

(三)『今昔物語集』における晴明像……………	57
三、鎌倉時代における晴明作品……………	64
(一)『古事談』における晴明像……………	64
(二)『発心集』における晴明像……………	67
(三)『宇治拾遺物語』における晴明像……………	68
(四)『古今著聞集』における晴明像……………	71
(五)『源平盛衰記』における晴明像……………	72
四、まとめ……………	73
第二節 室町・江戸時代における晴明作品……………	74
一、はじめに……………	74
二、室町時代における晴明作品……………	74
(一)『臥雲日件録』における晴明像……………	74
(二)『體源抄』における晴明像……………	76
(三)『真如堂縁起』における晴明像……………	77
(四)『篋篋内伝金烏玉兔集』と『篋篋抄』における晴明像……………	78
三、江戸時代における晴明作品……………	86
(一)『月刈藻集』における晴明像……………	86
(二)『信田妻』における晴明像……………	88
四、まとめ……………	91
第四章 総論	
第一節 史実と文学……………	92
第二節 今後の課題……………	100
付録	
主要参考文献・主要資料……………	101